



近藤 大介 議員

住民参画のまちづくりは

町長

多様な住民意見を生かす



まちづくりの主役は町民

【近藤】これからのまちづくりについて、どのようなまちづくりをめざすか。

【町長】教育・子育て環境の充実、雇用の創出、産業振興にスピード感を持って対処し、子や孫の世代が住み続けられる大山町にしたい。

【近藤】総合計画「未来づくり10年プラン」を町政にどう生かしていくか。

【町長】基本理念の「楽しさ自給率の高いまちへ」の実現に向け、町内で楽しさがどんどん

生まれていくような施策を展開していく。

【近藤】地域自主組織の取り組みをどう進めていくか。

【町長】地域自主組織が担う事業を推進し、行政と住民が協働したまちづくりを進める。

【近藤】住民参画と情報公開についての考えは。

【町長】住民参画と情報公開は自治の基本である。

透明性のある行政を目指し、多様な住民意見を生かした政策を行っていく。

買い物弱者の支援は

町長

タクシー助成で出かけやすく

【近藤】大山診療所の経営改善は。

【町長】鳥取大学医学部との連携を強化し、固定医の確保に努める。

【近藤】農業振興、漁業振興の取り組みは。

【町長】農業の重要課題は担い手・後継者対策であり、就農応援交付金や農業機械導入の支援など、新規就農時の経営確立をはかる。

また、親元就農促進支援交付金事業により後継者の確保をはかる。

漁業振興では、漁業就業者確保対策事業等により新規漁業就業者の確保をしていく。もうかる漁業をめざし、鳥取県漁協と連携しな

がら付加価値を高めるブランド化に取り組む。

【近藤】買い物弱者支援の取り組みは。

【町長】タクシー助成制度を手厚くし、出かけやすくすることを検討する。



高齢者も乗りやすいUDタクシー